

感染状況・医療提供体制の分析(10月18日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (10月11日公表) 9月30日～10月6日	現在の数値 (10月18日公表) 10月7日～10月13日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	265人	191人	→	レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要 定点当たり患者報告数は 2.27人 と減少。手足口病はやや増加、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎高止まり。インフルエンザも発生し始めている。更に、全国的にも岡山県でもマイコプラズマ肺炎が増加。全国的にも岡山でも感染者数は減少傾向。しかし、高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 入院患者数は緩やかな減少にとどまっている。重症者も発生している。 ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		定点当たり数	3.15人	2.27人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	30.6%	35.6%	→	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	2.09人	1.36人	→	
		倉敷市保健所	4.94人	3.56人	→	
		備前保健所	2.27人	1.27人	→	
		備中保健所	3.33人	2.25人	→	
		備北保健所	2.67人	1.83人	→	
		真庭保健所	3.00人	1.33人	→	
		美作保健所	4.10人	4.30人	→	
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	22人	15人	→		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	1人	2人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。